

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月28日

計画の名称	京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化												
計画の期間	平成31年度～令和05年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大阪府												
計画の目標	関西大環状道路の一部を形成する京奈和自動車道の整備に合わせ、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	29,690	A	29,690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H31当初)	(H33末)	(H35末)
1	ICアクセスに係る時間の短縮を図り、ネットワークの機能を向上させる。 ICアクセス時間短縮率 [ICアクセス時間短縮率(%)]= {Σ[要素事業の現道での所要時間(分)]-Σ[要素事業供用による所要時間(分)]} / Σ[要素事業の現道での所要時間(分)]	0%	0%	27%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	1,485				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	1,485				
前年度からの繰越額 (d)	160				
支払済額 (e)	1,174				
翌年度繰越額 (f)	471				
うち未契約繰越額(g)	220				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	13.37				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算により、年度内契約が困難であったため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○